

# 12月5日(火)~27日(水) 満月セレクト

— 今回のセレクトター ご紹介 —

Music Selector : 土屋 光弘 (ラジオ番組制作ディレクター、プロデューサー、選曲家)



土屋 光弘

大学卒業後、大手レコードショップのジャズ・カウンターで3年間勤務。その後、ラジオ番組制作会社へ転職、現在フリーランスで、都内FM、AM、CS局を中心に番組を制作、プロデュース、イベント、店舗BGM等の選曲を担当。歌謡曲、J-POPから洋楽全般、映画音楽、ジャズ、ワールド・ミュージック、現代音楽、落語、効果音など、メジャーからマイナーまで、音楽というよりも「音」に関するあらゆるジャンルの選曲、制作、プロデュースを行う。

## 今回のセレクトCD

1.



### IT MIGHT AS WELL BE SWING / FRANK SINATRA (REPRISE / 060252719996)

米エンターテインメント界が生んだトップスター、フランク・シナトラが、1964年に発表した名盤。共演はカウント・ベイシー楽団、編曲と指揮を務めたのはクインシー・ジョーンズ。このアルバムから「フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン」が大ヒット。1960年代前半、アメリカはアポロ計画に沸いており、この曲はその時代を象徴する1曲となった。乾杯の合図と共に聴きたい極上の1枚。

2.



### トニーの素晴らしいジェット旅行 (SONGS FOR THE JET SET) / TONY BENNETT (SONY MUSIC JAPAN / SICP-4204)

フランク・シナトラと並び、米ポピュラー音楽界を代表するシンガー、トニー・ベネットが1965年に発表した名盤。当時の海外旅行ブームに合わせて、フルオーケストラをバックに、世界のポピュラーヒットを歌ったロマンチックな作品。トニー・ベネットは、2014年にレディー・ガガとデュエット・アルバムをリリースし、91歳を迎えた今も現役で活躍しているが、そのシンガーの絶頂期の歌声が楽しめる。

3.



### CLOSE TO THE SUN / STEREO VENUS (Fab Label / MZCF-1311)

1960年代の米ポピュラー音楽の雰囲気感を現代にアップデートさせて人気を集める女性シンガー、ルーマーと、オルガン奏者、ロニー・モアが組んだユニット「ステレオ・ヴィーナズ」が、2011年にリリースした作品。アルバムのジャケットのイメージをそのまま伝える、1960年代の映画音楽やラウンジ・ミュージックの雰囲気が漂うキュートなサウンドと、ルーマーのソフトで可憐な歌声に癒される、最良のカフェ・ミュージック。

4.



### AN INVITATION / INARA GEORGE WITH VAN DYKE PARKS (Everloving, Inc. / EVE-024)

ポップなエレクトロ・ユニット、ザ・バード&ザ・ビーのメンバーとして、日本でも多くのファンを持つ女性シンガー、イナラ・ジョージが、米ポピュラー音楽界を代表する編曲家、作曲家、プロデューサーであるヴァン・ダイク・パークスを迎えて、2008年に発表したソロ・アルバム。優雅なストリングスとイナラの気だるいヴォーカルが相まって、1920年代から1930年代を彩ったアメリカのニューヴェルヴアージュのような雰囲気が味わえる。聴くとタイムトリップする不思議な1枚。

5.



### JOU OUVÉ / MALAVOI (RICE RECORDS / MSR-581)

探検家コロンプスが「世界で最も美しい場所」と呼んだカリブ海に浮かぶ西インド諸島の中の島国、マルティニークを代表するバンドのマルヴォア。彼らが1988年に発表したワールド・ミュージックの歴史に残る傑作だ。フランス領である影響から、欧州のサロン音楽のような流暢なストリングスと、ラテンのリズムが溶け合った、心地良いサウンドが特徴。初リリースから来年で40年、今聴いても贅沢なダンスタイムが楽しめる。